



THE JAPANESE SCHOOL in LONDON

ロンドン日本人学校だより 1

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく
国際社会を生きぬく児童生徒の育成
合い言葉：自立・貢献

2021(令和3)年
月11日発行 ロンドン日本人学校
令和2年度 第7号

新型コロナ災禍を超えて その4 「その先の未来を創るために」

…3学期始業式 式辞より 校長 石山 秀樹

…新しい年を迎えました。この日は、学校にとって3学期の始まりであり、社会では、2021年という新たな1年間の始まりでもあります。

昨年、2020年・令和2年は新型コロナウイルス感染症との戦いに、学校も、社会も、振り回された1年となりました。そしてその戦いは、今、私が皆さんとこうしてオンラインで、画面越しでしかお話しできないことから分かるように、これからも暫く続くことでしょう。

しかし私は、人類は必ずこの危機を乗り越えることができる、と考えています。人間の歴史、科学の歴史を学んだ人は知っていると思いますが、人類はこれまで何度も、自然災害や疫病などによって大きな被害を受けながらも、そこからたくさんのかつことを学び、克服し、再び立ち上がってきた経験があります。今回のコロナ禍では、まさに今この瞬間にも、世界中の研究者が新型コロナウイルスへの対処法や効果的なワクチンを研究し、製薬会社がワクチンや症状を和らげるための薬品を製造し、世界中の医療従事者の皆さんが、発症して苦しんでいる人への対応やワクチン接種に取り組み、それらの人々に感謝が捧げられています。そして、その取組そのものが、まさに人類がこれまでの歴史の中で考え、発見し、積み上げてきた科学や技術の成果なのです。

より身近に、私達が新型コロナ対策として当たり前に取り入れている「手洗い」や「消毒」にしても、それが可能なのは科学と技術の発達の結果です。手洗いにふさわしい清潔な水を皆さんのところへ届けるために、たくさん浄水場があり、水道設備が作られ、その維持や管理のために今も多くの人がそこで働いています。消毒については、そもそも感染症の原因の一つである細菌の存在が科学研究を通じて知られたのが今から僅か150

年ほど前、ウィルスが発見されたのは65年前に過ぎず、発見された病気のもとである細菌やウィルスへの対抗策として、アルコールをはじめとする様々な消毒用の薬品が研究・開発され、今、私達のコロナ対策へと繋がっているのです。今こうして、画面を通じて皆さんに私のお話を届けることができるのも、もちろん科学と技術の発見と発達の結果であることは言うまでもありません。

皆さんは今、小学生・中学生として、「学ぶ」立場にあります。それは何のためでしょうか。一つは、自分自身が社会に出たときに、自分の手で稼ぎ、ご飯を食べていけるように…「自立」できるように、です。もう一つは、皆さんが学び、手に入れた力で、周りの何か、周りの誰かの役に立つため、自分を含めて周りの人や社会を幸せにするため…「貢献」できるように、です。先程、私達の「今」は、私達の御先祖様を含め、人類が築き上げてきた科学や技術の「学び」の上に立っているというお話をしました。これから10年後或いは20年後の未来には、今度は皆さん自身が学んで得た力を元に社会を作る、人類の歴史を作っていく番になります。

今はロックダウンで、学校は閉鎖され、友達と会うこともできず、満足に身体も動かせない、不自由で、窮屈で、我慢や辛抱をしなければならない毎日でしょう。しかし、私達にはまだできることがあります。ロンドン日本人学校の先生方は今、これから始まるオンライン授業で皆さんができるだけ多くの「学び」を手にする事ができるよう、一生懸命の工夫をしています。皆さんにもまずは、このオンライン授業に積極的に取り組み、仲間や先生と進んで関わり、たくさん学び、たくさん考えて、やがて大きな成長につながる1年となることを期待しています。